

SEMANARIO DE S. PAULO

No 671

Redacção Rua Monsenhor Claro 4-35 Caixa Postal, 58, Bauru

(Bi Semanario) Director Rokuro Kowyama

21 de Junho de 1932

聖

Smt. Kobayashi Mitor
小林 美登利 殿
Caixa 27, São Paulo

報

Caixa, 58
Bauru

朝鮮軍國境に出動
〔京城八日後〕朝鮮軍司令部發
行、鐵線江對岸方面に於ける兵
事の發展は、大連に於ける兵事の
發展と並んで、軍は朝鮮防衛上六
月六日國境守備隊一部を撤去し
て對岸の要地に活動させた

高麗戰役は昨日新聞紙上に傳へ如向に公報して編集にあたるも
果して之を承認するか否かは疑
問だ。

拉の敵
クローン ブリッジ
の檄
獨逸元皇太子フリードラッペ。酒法反對意見書を發表したが、
英國も智利新政府に就ての禁酒法反對
英國外務次官エドン氏が十三日宣言を試みなかつたと
不承認。

佛國海軍大演習
過日キリスト教育年會總裁ジョン・モット氏は倫敦で舉國の祭
酒法反對意見書を發表したが、
英國も智利新政府に就ての禁酒法反對
英國外務次官エドン氏が十三日宣言を試みなかつたと
不承認。

モデルナ洋服店
アルタリア Moderna
Caixa 85 Birigui

最速式流行服の販賣化
婦人服子供服の製作は
是第幾店!!

郷里送金
Estado de S. Paulo
一、吾々は帝國が遠かに滿州國に於ける兵事の發展を承認し、暴力その威嚇を援助する事を期す。
二、吾々は國防の完備に關して國論の正道に努め、特に滿州に對する兵事の發展を促進する事を期す。
三、帝國は今や社會有の困難に直面し吾々は一致團結應對する。
四、帝國は常に和平を期す。
五、帝國は今日の困難に對する兵事の發展を期す。
六、帝國は今日の困難に對する兵事の發展を期す。

支那銀行本部にて開催された

南米中原の バラグワイ河氾濫

ノロエスティ線決済キロ

南米中原の諸川氾濫期節に入り、バラグワイ河の水は遂に兩沿岸の平原へと氾濫し、見渡限りの水原になつてしまつた。

ボルト、エスペランサ港より、二六四キロメートルの間の拾キロの鐵道路は氾濫水に決済されてしまつたのでボルト、エスペランサ駅向ての貨物及乗客はカラシダゾーラ駅浦になつてしまつて居る。

マツケンチ中學 公認剣奪さる

創設開校當時に

さかのほる峻烈さ

聖市英人經營のマッケンジー中學生先輩が五十六名も優秀な活躍は去る十五日伯爵大統領動をやつて居るのか、現に二か公認剣奪命令に署名して二名の生徒に授業に難解課題にまつた。剣奪の競争は遂に創立四年四名も居り聖市は第一及教育界に専らからず觸感を與へる。

當校は伯爵八州に亘り技術官汚吏にモノされんてないかエンデニラ界方面には卒其原因が見做されて居る。

聖市英人經營のマッケンジー中學生先輩が五十六名も優秀な活躍は去る十五日伯爵大統領動をやつて居るのか、現に二か公認剣奪命令に署名して二名の生徒に授業に難解課題にまつた。剣奪の競争は遂に創立四年四名も居り聖市は第一及教育界に専らからず觸感を與へる。

又々朝の汽車で郵便物を運ぶ

バウル蓋ノロエスティ鐵道運搬帆移民八百三十四名を搭載、健

便物は茲半歲守后五時四十分登場康泰良好にしてケーブルよりチ

ーリンス泊り車ののみ積み込

ーティス直航帆船航り着有定期通

行きの乗客列車には受けつけタントス港に入港の難定、尙

なかつた、それでバウル港奥へ

全船我航はブエノスヨリオに

郵便物はランス港までは夜中直航してタントス港には寄らな

い行くとの由

につきランス港奥アラナフード

港までは翌日に趣する、不便さ

であった。

ボーカー・郵便局監理部もの

不便是翌日に趣する、不便さ

であった。

六月十七日大阪商船テントス社

員へ手の無能によれば、また

らえは定期通りケーブルタクシ出

野球界

好景な男

第一番に夫人に中古のピアノを

購入してやつた、その後「しんじ

本舞踊「松の名所」めどりと万

歳と少年少女の可愛らしさ

から「曲合葵千鳥の曲」日本

舞踊北州等々其の他外人間

歌舞の童話「牛鬼丸」

等の特別公演による獨唱ダン

主催者開会式開會の詳しきに

アナ劇場に於て開催された

山桃園の閉會の詳と共に散會

した、時に正五時

中古の

馬リヤ市

新市長

山本商店ベンソン

兼營

ペアル市アザニアス、レイナ

ス

六一七〇にて難殺卸小賣商の山

本商店は今度ベンソン經營のた

め同街の六一四七に移転

デス、ロシヤ氏が新任された

ハセント活躍中である

吉井殺し嫌疑者であつた西村磨は、ベン

ナボリス警察より先週嫌疑はれて釋放

された。

新映画評

ナボリス警察より先週嫌疑はれて釋放

された。

吉井殺し嫌疑者であつた西村磨は、ベン

ナボリス警察より先週嫌疑はれて釋放

された。

新映画評

ナボリス警察より先週嫌疑はれて釋放

<p

日本近信

謝外交總長

顧維鈞問題なんか

「リットン卿を驚かすてんて相手にせず

「下僚と交渉されよ」と

前日來の雨がからりと晴れた五、六、四日の午後四時、余（大毎佐藤特派員）は約束を履行して新京交換の高台にある謝外交總長の私邸を訪ねた。

今清國の大立物としてその對外關係に腕の牙を見せてゐる佐藤特派員は約束を履行して新京交換の高台にある謝外交總長の私邸を訪ねた。

前日來の雨がからりと晴れた五、六、四日の午後四時、余（大毎佐藤特派員）は約束を履行して新京交換の高台にある謝外交總長の私邸を訪ねた。

について委員が知らなかったがつて午後二時半から問院で行はれ左

の七名の策學者にそれ／＼授

されたアヌス叙事詩ユーカラの研究

金田一京助深處に發生する地獄に關する研究

和田清夫博士

右恩賜授與各通

本邦乳児においてしばし

は見らるる脛膜炎様病症

の原因についての研究

梅樂博士平井太郎メダカ稚色遺傳的研究

本邦學士院授業各通

宇田新太郎重力偏倚及び岩石磁性

は立派な高麗の文字を生か

ないらしい。それがなければ

は信頼がある。それがなければ

い、門戸開放の標榜をしてゐる

の關係上通商交易は歓待する

こととまつたるがわれは

は立派な自給自足でやつて行く

ば新國家の建設なんか無意味

で強いて認めて貰う必要はな

り、その場合にがつりと合つて

連絡即ち「けだかへ」で

は宣教かるべく候只文字の多少

をも無の候唯開泰がすらりと行け

ば宣教かるべく候只文字の多少

は東角として三祖なる者の理解難

ある遺憾に存候「高麗」の意

がめの場合にがつりと合つて

連絡即ち「けだかへ」で

は東角にして一般讀者の理解難

ある遺憾に存候「高麗」の意

があらゆる新國家とその間

は聯盟なんかのお世話に一切

ことであつた。ハハハ、

本邦の御成婚記念典授與各通

超短波放送の松山基範

電子の要析に關する研究

士官第廿二回授賞式は五、九、十日

表彰

帝國學士院授賞式

學界の功勞者を褒美する帝國學

士官第廿二回授賞式は五、九、十日

表彰

大阪市立工業研究所長高岡博士から飛報

電子の要析に關する研究

菊池正工

授與

工學博士宇田新太郎

右大毎、東大寄附東宮

御成婚記念典授與各通

梅樂博士平井太郎

電子の要析に關する研究

舊人舊の如く新人多き子規

恵田の句も乞はるれど如是

に勝所新酒碧梧桐

の如くに候勿論七五調あらず

い、執政の謁見は西首として

なされたもので極めて莊重で

あつた、委員はこの英明な執

政を有する新國家とその間

やまないといつた、こまで執

政に謁見した時も執政からそ

れに於て簡單に説明があつた

た、その仁義道德が西洋人は

呑めぬみたかどうかわからな

い、執政の謁見は西首として

なされたもので極めて莊重で

あつた、委員はこの英明な執

政を有する新國家とその間

やまないといつた、こまで執

政に謁見した時も執政からそ

れに於て簡單に説明があつた

た、その仁義道德が西洋人は

呑めぬみたかどうかわからな

い、執政の謁見は西首として

なされたもので極めて莊重で

あつた、委員はこの英明な執

政を有する新國家とその間

やまないといつた、こまで執

政に謁見した時も執政からそ

れに於て簡單に説明があつた

た、その仁義道德が西洋人は

呑めぬみたかどうかわからな

い、執政の謁見は西首として

なされたもので極めて莊重で

あつた、委員はこの英明な執

政を有する新國家とその間

やまないといつた、こまで執

政に謁見した時も執政からそ

れに於て簡單に説明があつた

た、その仁義道德が西洋人は

呑めぬみたかどうかわからな

い、執政の謁見は西首として

なされたもので極めて莊重で

あつた、委員はこの英明な執

政を有する新國家とその間

やまないといつた、こまで執

政に謁見した時も執政からそ

れに於て簡單に説明があつた

た、その仁義道德が西洋人は

呑めぬみたかどうかわからな

い、執政の謁見は西首として

なされたもので極めて莊重で

あつた、委員はこの英明な執

政を有する新國家とその間

やまないといつた、こまで執

政に謁見した時も執政からそ

れに於て簡單に説明があつた

た、その仁義道德が西洋人は

呑めぬみたかどうかわからな

い、執政の謁見は西首として

なされたもので極めて莊重で

あつた、委員はこの英明な執

政を有する新國家とその間

やまないといつた、こまで執

政に謁見した時も執政からそ

れに於て簡單に説明があつた

た、その仁義道德が西洋人は

呑めぬみたかどうかわからな

い、執政の謁見は西首として

なされたもので極めて莊重で

あつた、委員はこの英明な執

政を有する新國家とその間

やまないといつた、こまで執

政に謁見した時も執政からそ

れに於て簡單に説明があつた

た、その仁義道德が西洋人は

呑めぬみたかどうかわからな

い、執政の謁見は西首として

なされたもので極めて莊重で

あつた、委員はこの英明な執

政を有する新國家とその間

やまないといつた、こまで執

政に謁見した時も執政からそ

れに於て簡單に説明があつた

た、その仁義道德が西洋人は

呑めぬみたかどうかわからな

い、執政の謁見は西首として

なされたもので極めて莊重で

あつた、委員はこの英明な執

政を有する新國家とその間